

千葉県立市原緑高等学校創立記念日

1 11月28日は創立記念日

11月28日は千葉県立市原緑高等学校の創立記念日です。この日が創立記念日とされているのは、昭和48年11月28日に第21回定例教育委員会第98議案で千葉県立市原緑高等学校の設置が認可されたことによります。

今年は創立41年目にあたります。創立記念日にあたって市原緑高校の先輩の皆さんが営々と築き上げてきた歴史に思いを馳せ、これからの市原緑高校を創造していく決意を新たにしましょう。

2 校訓・教育方針・教育目標

【校 訓】

創造 友愛 自主

【教育方針】

誠意・熱意・創意をもって教育にあたり、心身ともに健全で、有為な社会人を育成する。

【教育目標】

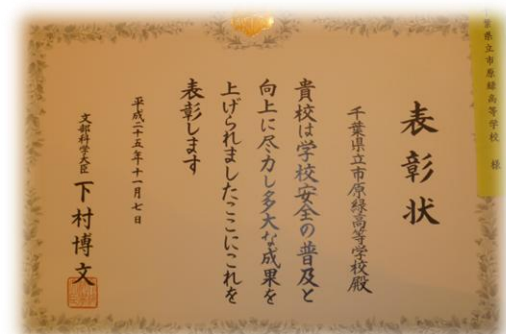
- 1 豊かな人間性の養成
- 2 確かな学力の定着
- 3 健康・体力の増進



3 歴史を振り返る

【沿革概要】

昭和49年	4月	1日	県立市原緑高等学校として設立
昭和49年	4月	8日	仮校舎にて開校式・第1回入学式
昭和49年	11月28日		校旗、校歌制定（創立記念日）
昭和50年	4月	5日	通学バス開通
昭和52年	3月10日		第1回卒業証書授与式
昭和55年	12月	8日	校門竣工
昭和59年	6月	1日	創立10周年記念式典
平成4年	4月	1日	推薦入学実施・新制服採用
平成5年	10月30日		創立20周年記念式典
平成6年	4月	1日	体育コース設置
平成7年	4月	1日	スポーツコース設置
平成10年	4月	1日	スポーツ健康コース設置
平成15年	4月	1日	新制服採用
平成16年	11月27日		創立30周年記念式典
平成19年	11月13日		平成19年度県教育委員会表彰（学校健康教育）
平成21年	9月	1日	普通教室棟教室冷房設備導入
平成21年	9月30日		関東交通安全協会連合会表彰（交通安全功労団体）
平成23年	1月18日		全日本交通安全協会表彰（交通安全優良学校）
平成25年	11月	7日	平成25年度文部科学大臣表彰（学校安全）



4 校章とその由来



いちょうは、古くから人々に親しまれている樹木で、生命力が強く、枝葉は大きく繁茂して大樹となり、千年の風雪に耐え生きるといふ。いちょうには、無限の可能性を秘め、力強く未来に羽ばたく若人の意気と校運の隆盛をうかがうことができる。

校章にかたどった三枚のいちょうの葉は、知（創造）、情（友愛）、意（自主）の三相一如を現し、均衡のある人間形成を意味している。

いちょうは、どの葉も同一にみえるが、それぞれ異なっており、その繁るありさまは、個性豊かな伸長を図り、互いに協調する友愛の姿と見ることができる。（制作者 山田 盛三郎 氏）

5 校 歌

三		二		一		校 歌
豊かなる樹になれ	天つ日 青空 学窓に映え	天平 薨は 地に埋もれ	湖 島影 風そよぐ	天つ日 青空 学窓に映え	沢田 繁二 作詞 寺内 昭 作曲	
わが市原緑高	いちようよ 伸びよ 青年の	堂塔 伽藍の 法のあと	いちようよ 伸びよ 青年の	天つ日 青空 学窓に映え		
おお 緑	若き力は 萌えいつる	星霜 移る この郷土に	若き力は 萌えいつる	天つ日 青空 学窓に映え		
おお 緑	おお 緑	世界の波は 押し寄する	おお 緑	天つ日 青空 学窓に映え		
おお 緑	おお 緑	新たなる樹になれ 光あれ	おお 緑	天つ日 青空 学窓に映え		

6 開校当時の思い出

【プレハブ校舎で開校式】

4月8日、新緑につつまれた山倉ダムの湖畔に県立市原緑高校が開校した。市原・鶴舞・京葉の各高校につぐ市内では4番目の高校で、市原市民にとっては永年の夢の実現であった。

石油ショック後の建材不足のあおりを受けて校舎の完成が遅れ、プレハブ校舎を利用して入学式を兼ねて開校式が行われた。あいにくの雨にもかかわらず、361名の生徒は希望に胸をふくらませて登校し、マイクを通して流れてくる校長や来賓の挨拶を聞き、名前を呼ばれると「ハイ」と返事をして立ち上がった。

【新校舎への移転】

待望の新校舎が完成し、7月17日には事前の大掃除を一段と力を込めて実施した。19日にプレハブ校舎から新校舎への移転を完了した。



【校旗・校歌披露式】

11月28日、市原中学校の講堂を借りて校旗・校歌の披露式が盛大な中にも厳粛に行われた。この日に定めたのは昭和48年11月28日に千葉県教育委員会の第21回定例会において市原緑高校の設置が許可された記念すべき日であったからである。

（『創立20周年記念誌』，『創立30周年記念誌』より）